

全国革新懇3つの共同目標

- ① 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ② 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

発行 オール名鉄革新懇話会 〈明日をひらく会〉

世話人代表：石井 重成 TEL・Fax 0569-42-2517

事務局：〒456-0062 名古屋市熱田区大宝1-2-3ヴェルクレート日比野 1201号

植村 好清 TEL・Fax 052-681-0822

メール yosikiyo1937@mti.biglobe.ne.jp

2013.10

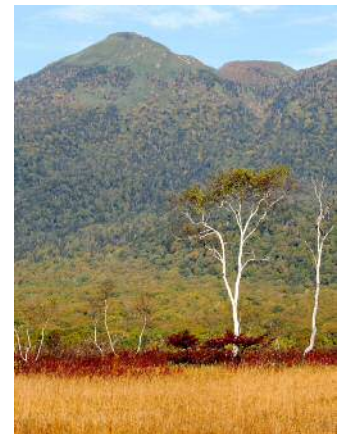
このところ、腹が立つような報道が続いています。すでにご存じの方があつことを承知のうえ、ピックアップしました。

① 首相 自信の演説連発 (毎日9/27)

・国連総会で一般討論演説し、米ニューヨークでの「スピーチの旅」を締めくくつた。一連の演説で、首相は「大胆な減税」「積極的平和主義」「女性のか」といったキーワードを使い分け、「アベカラー」をアピール。

・ニューヨーク証券取引所を訪ね、こう強調した。演説で「日本に帰つたら成長戦略の矢を放つ。投資を喚起するため、大胆な減税を断行する」と述べ、法人税の実効税率引き下げにも意欲を示した。

・米保守系シンクタンク「ハドソン研究所」の講演で、中国の軍備拡張に懸念を表明した。一方で日本の防衛予算の伸びが0.8%にとどまっていることにもふれ、「皆さまが私を右翼の軍国主義者とお呼びになりたいなら、どうぞ」と語り、国際社会の懸念に反論。
・国連演説では「積極的平和主義の旗を掲げる」と宣言し、国連平和維持活動(PKO)などに前向きに取り組む方針を示した。



② 経産省キャリア ブログで暴言 (毎日9/26)

・この官僚は経産省や防衛相で課長を歴任し、今年6月末から日本貿易振興機構(ジェトロ)に出向。15年のイタリア・ミラノ国際博覧会の日本政府代表も務めていた。

・書き込み原文

2011年9月25日にブログに書き込んでいた内容は以下の通り(表記は原文のまま)。

もともと、ほぼ減んでいた東北のリアス式の過疎地で定年どころか。年金支給年齢をとくに超えたじじいとばばあが、既得権益の漁業権をむさぼるために、そいつらの港や堤防を作るために、そいつらが移住をごめるためにかかる費用を、未来の子どもたちを抱えた日本中の人々から、ふんだくり、綺麗事をいうせいじ。復興は不要だと正論を言わない政治家は死ねばいいのと思ふ。

■ 秋のハイキングは ” 中山道 鳥居峠越え ”

・期 日：10月27日(日) 雨天中止

・と ころ：藪原駅--鳥居峠--奈良井駅

・列 車：名古屋(8:16 ナイスホリデー木曽路 塩尻ゆき)⇒藪原(10:45 着)

・コ ース：10.7km 3時間10分

藪原宿---鳥居峠---奈良井宿

・か へり：奈良井(14:40 ナイスホリデー木曽路)⇒金山(17:07)⇒名古屋(17:11 着)

・運 賃：往復2500円(こども1250円)---「青空フリーパス」

■ 9/22 ハゼつりを三河一色で楽しむ！

9月1日は荒れ模様が予想されたため延期して実施。日曜日だったため、周囲は釣り客でいっぱい。釣りの成果は？聞いてくださるな。キス、エビ、フグそれにハゼの天ぷらなど美味しくいただき楽しい初秋の日でした。シェフの近ちゃん、釣り道具を準備された笠やん、を作ってくれた山ちゃんご苦労様でした。参加者は子どもさんも含め17名



舞台
と盛
況

<一般行事・その他>

■ 私鉄「連帯する会」交流集会是上諏訪で開催！

期 日：11月14日（木）～15日（金）

参加申し込み：事務局 植村まで

■ 全国革新懇交流集会是大阪で開催！9/8

期 日：11月16日（土）～17日（日）

■ 連続憲法講座 2013 は終了しました

この講座は終了しましたが、来年も引き続き開催されることが決まっています。決まり次第お知らせしますので、たとえ一日でもご参加されることをお勧めします。

<書籍紹介>

太平洋戦争

家永三郎 著 岩波現代文庫/1470円

1931年満州事変--日中戦争--アジア・太平洋戦争という日本軍による一連の侵略を15年戦争、太平洋戦争といわれている。これら侵略戦争のきっかけとなっているのは、日本軍部による柳条湖事件、南京大虐殺などによることが明らかにされている。しかし、「侵略ではなかった」「南京大虐殺はねつ造だった」などと知識人といわれている宮脇淳子、櫻井よし子、河村名古屋市長などが当時の軍部を擁護する発言がみられる。わたしの周囲でも何度か聞きました。しかし、その人たちに分かりやすく反論するのはなかなか容易ではありません。そんなことから何とかしなければと、この本を手にし、かなりの日数をかけて読み終え、大変参考になりましたので、紹介させていただきます。

著者の家永三郎氏は、1956年に文部省に高等学校用教科書として発行するために検定申請用として「日本史」を提出され、1957年に不合格処分を受けました。そして不合格処分を不服として訴訟を起こし、教科書裁判に半生を貫いた方です。

次回（168回）世話人会 10月15日（火）10：00から